



五弁の花

「届けよう看護の声を！
私たちの未来へ」

題字…貝原俊民前兵庫県知事

発行所/兵庫県看護連盟
TEL.078-382-3150
責任者/ 春江 ハル子

「五弁の花」兵庫県は摂津・播磨・丹波・但馬・淡路の五弁からなっている



謹賀新年

新春の神戸港を眺む(撮影：仁木 美枝子)

目次

- ◆新年のご挨拶 春江ハル子（兵庫県看護連盟会長）
大島敏子（日本看護連盟会長）
成田康子（兵庫県看護協会会長）
たかがい恵美子 参議院議員
石田まさひろ 参議院議員
あべ俊子 衆議院議員
木村やよい 衆議院議員
- ◆日本看護連盟通常総会報告
- ◆近畿ブロックセミナー報告
- ◆COVID-19感染に関する事項



新年のご挨拶(令和3年)



兵庫県看護連盟
会長 春江 ハル子

あけましておめでとうございます。

「静かな年末年始」が呼びかけられた中での、令和3年の新春を皆さまはどのように迎えられたでしょうか？

例年、Uターンでごった返す駅や空港は閑散とし、高速道路も目立った渋滞はなく新型コロナウイルスの影響の色濃い年始となりました。また、“おめでとう”と元気に交わす新年の挨拶も自粛生活のため叶わず、声を掛け合う当たり前のあいさつがいかに尊いことか、思い知った今年の新年でもありました。

昨年の看護連盟活動は、新型コロナウイルス感染拡大のため研修および新年互礼会などの中止を余儀なくされ、会員の皆様とお会いする機会が奪われました。令和2年度の通常総会は6月20日(土)から7月18日(土)に変更するとともに、時間短縮、参加人数の制限、委任状の提出など会員のみならず皆さまのご協力を得て開催できましたことは感謝の念に堪えません。

新型コロナウイルスに関する6項目の要望書を看護協会とともに兵庫県知事、健康福祉部長、自民党県連、「看護を支援する議員の会」、神戸市長と多くの方々に提出しました。また、多くの方々から医療物資や駄菓子など心のこもったご支援をいただき、“絆”の大切さを学ばせていただいた1年でした。

2020年3月1日、兵庫県において新型コロナウイルス感染症患者が発生してから1年になろうとしています。第一波、第2波を乗り越え、第3波となり令和3年の新年を迎えても感染者数は日々更新され、1月12日直近1週間の平均患者数は254.1人、重症患者数も増加し感染患者を受け入れる病床は逼迫しています。また、1月14日から2回目の緊急事態宣言が発出された中で、緊張感のもと勤務されている皆様のご苦労は如何ばかりかと察するに余りあります。

どうぞ、ご自愛いただきますようお願い申し上げますとともに、皆様に深い敬愛の念と感謝を申し上げます。そして、一日も早いワクチンの投与と収束を望みます。

人生100年時代にあって、コロナ禍後の社会環境の変化と厳しい財政状況のもと、団塊世代のジュニアの多くが65歳以上になる2040年を視野に、いま、何を変え、何を守り「地域共生社会」をどう構築していくのか、私たち一人ひとりが考え実現していく勇気が求められます。

新年が、皆様お一人おひとりにとって実り多い年となりますよう祈念申し上げます。



春江会長宅の葉牡丹

五弁の花によせて

日本看護連盟 会長 大島 敏子



新年挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年はCOVID-19の感染に終始した1年でした。臨床の皆様にとって、病態が分からず治療法も治療薬もないまま看護することが、どんなに大変で、心揺れ動きながらの日々であったかと思うと、心からの敬意と感謝を送ります。看護職全体がそれぞれの立場で、最善を尽くしてきた1年でありました。それ故、世間では、医療関係者への感謝を「Light it Blue」や「Friday Ovation」そして、路面電車やバスに感謝の言葉をラッピングし走りました。これは、全ての看護職の実践の成果です。本当にありがとうございました。戦いは終わったわけではありませんが、もう一息です。国民と共に頑張りましょう。

連盟の昨年の課題は、令和の地域包括ケアシステムに合わせたスローガンの変更とPR動画やポスターの作成、広報ツールの見直しとブロックセミナーを協会長参加で開催すること、そして戦略会議を各県ごとからブロック開催することでした。以上は確実に実現できましたが、第26回参議院選挙の候補予定者の推薦については、委員会規約を見直し、今年の総会でご承認いただく予定です。

丑年の今年、大地に足を下ろし、協会が連盟をつくってきた60年前に戻り、「看護は一つ」の合言葉の下に、連盟活動を原点回帰の1年にしたいと考えます。本年も宜しくお願い致します。

兵庫県看護協会 会長 成田 康子



「看護連盟と看護協会は『密』」

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、帰省できず例年とは違う形で新年をお迎えの方もおられることと思います。年末年始もなく、医療の最前線で、県民の命を懸命に守っていただいている看護職の皆様に心からの敬意を表し、感謝申し上げます。

昨年は、防護具が不足する中、新型コロナウイルスの感染拡大にともなう患者のケアに懸命にあたってくださっている看護職の頑張りに、何とか答えたいとの一心から、看護連盟と看護協会はタッグを組んで、兵庫県と神戸市に、PPEの配布や危険手当の支給等様々な要望をしてきました。看護連盟と看護協会は、常に情報交換しつつ役割分担しながら共に看護の発展と、看護職の皆様が安心して働き続けられる環境作りに向けて活動しています。まだまだ収束の兆しが見えない新型コロナウイルスの感染拡大ですが、今年は「丑年」です。丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前振れ（芽が出る）」を表す年になると言われています。コロナ禍での「新たな生活様式」を取り入れた看護協会活動を、看護連盟と連携しながら丑年の「耐えて芽を出す」、そして、発展させる年にしたいと思います。

今年も、支援・ご協力を宜しくお願い致します。



参議院議員 たかがい 恵美子



謹んで初春のお慶びを申し上げます。兵庫県看護連盟の皆様には日頃より大変お世話になっております。看護職の皆様並びにご家族の皆様におかれては、昨年来の感染症有事への対応等、公私ともに大変なご負担をおかけしております。厳しい自制と自粛を続けながら、いのちの最前線で国民の生命と暮らしをお守りいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

昨秋より政調副会長として、主に厚生労働及び文教科学スポーツ分野の政策を担当するとともに、新型コロナ対策本部副本部長として現下の感染症有事対策とガバナンス態勢の構築に携わり、また行政改革推進本部役員として菅政権が進める規制緩和とデジタル化推進に関する与党の政策提言とりまとめに関わらせていただいております。人々に幸せを運ぶ看護職の笑顔を守り、一人ひとりが存分に役割を発揮できる環境を実現すべく、本年も鋭意努力して参ります。皆様にとって、いのち輝く健やかな年でありますようご祈念申し上げます。



医療トレーニング施設視察



女性医学学会シンポジウムに登壇

参議院議員 石田 まさひろ



兵庫県看護連盟のみなさま、あけましておめでとうございます。2021年が、すばらしき一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの蔓延により、私達看護職は医療介護の現場ではウイルスと、そして家庭をはじめプライベートな場所でも日々不安と戦ってきました。現場から多くの声をいただき、課題を解決すべく活動を続けた1年でもありました。その中で看護職においては慰労金が支給されるなど、以前よりも看護職自身、そして専門性にも注目が集まるようになりました。病院の経営不振などから処遇が悪化している方もいますが、看護職全体の処遇改善にさらに力をいれていきます。昨年9月に、参議院において昨年に引き続き3度目となる厚生労働委員会筆頭理事を拝命致しました。運営が最も難しい委員会の一つとされる厚生労働委員会の運営に携われることはありがたいことです。議論を今年もしっかりと進めていけるよう、最大限の努力を続けます。



2020年12月3日生労働委員会質問

合わせて、2年ぶりに参議院自民党国会対策委員会の副委員長を拝命しました。議会運営の担い手として気を引き締めて責務を全うしていきます。私の政治信念は「現場」とともにあります。皆さんからの現場の声が私の原動力です。看護職が「今日も良い看護ができた！」と実感できる環境づくりのために引き続き尽力してまいります。

今年もどうぞよろしく願い申し上げます。

衆議院議員 あべ 俊子



新年明けましておめでとうございます。令和三年の新春を迎えるにあたり、ご挨拶させていただきます。

兵庫県看護連盟の皆様には、昨年より、新型コロナウイルスとの闘いの最前線に立ち、日本国民のいのち・暮らしをお守りいただいていることに、心より感謝申し上げます。

新型コロナの拡大当初より、医療、研究、様々な分野の総力を結集してこのウイルスと戦って参りました。まだまだ未知の部分が多い中、感染しても重症化を回避できつつあるのは、皆さまの日頃の看護のおかげでございます。ご自身の感染リスクがある中、患者最優先で業務されている日々の積み重ねにより、医療崩壊を起こすことなく、新しい年を迎えることができました。



外務委員会にて委員長報告

昨年は、こうした皆さまのご尽力に対し、十分でないながらも、慰労金や助成金の形で、ご支援させていただきたく、関係各所との協議に奔走した一年でございました。

今年は『新しい日常』の中、社会、医療、経済復興の模索が続きます。いつの時も、政策立案の基本となるのは、現場からの声でございます。臨床、教育、行政の現場よりご意見いただき、Withコロナ時代を皆さまと進んで参りたいと存じます。

衆議院議員 木村 やよい



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

コロナの中で大変な思いをして頑張っておられる全ての看護職の仲間たちに、心からのエールをお伝え申し上げます。

慰労金はお手元に届いていますか。何か不都合なことがありましたら、お知らせください。

私は、昨年9月に自民党副幹事長を拝命しました。菅総裁・二階幹事長をお支えしてまいります。

第203回臨時国会は、1カ月余りの短期間でしたが、厚生労働委員会では予防接種法改正などが成立。私も、厚生労働委員会と消費者問題に関する特別委員会にて質問、総務委員会では郵便法改正案の賛成討論などをいたしました。

第2次補正予算では、慰労金として看護職への直接手当が実現しました。これは看護界史上なかったことです。

これを特例にせず、超少子高齢社会の医療提供体制のキーパーソンである看護職のモチベーションの維持のためにも、看護の専門性が正しく評価されるよう、引き続き発信してまいります。これからも、看護職が疲弊せず生き生きと働き続けられる環境づくりに、看護連盟の皆さまとともに、現場の声を丁寧にうかがいながら、力を尽くしてまいります。

コロナを経て、経済一辺倒ではない、内面の時代になりました。看護師・保健師出身の国会議員として、皆さまの健康を守りぬけるようがんばります。



11月26日女性活躍推進特別委員会
総理へ緊急提言申し入れ



11月20日厚生労働委員会質問



2020年度 日本看護連盟通常総会報告

- 日 時 : 2020年11月30日 (月) 13:00~15:30
- 会 場 : 東京プリンスホテル・兵庫県看護協会研修室 (リモート)
- 参加者数 : 本部会場 : 集合50名 リモート300名 委任状233通
兵庫県会場 : リモート12名 委任状5通

プログラム

- 12:00 開場
- 12:55 オリエンテーション
- 13:00 開会
物故会員への黙祷
挨拶 日本看護連盟会長
- 13:15 来賓祝辞
日本看護協会会長 福井 トシ子
自由民主党総裁 菅 義偉
厚生労働大臣 田村 憲久
文部科学大臣 萩生田 光一
衆議院議員 阿部 俊子
参議院議員 高階 恵美子
参議院議員 石田 昌宏
衆議院議員 木村 弥生
- 14:00 議長団選出
報告事項
 - 1.2020年度名誉会員
 - 2.2019年度通常総会、会議等報告
 - 3.2019年度委員会報告
 - 4.「2019年度日本看護連盟事業計画」
の実施報告
 - 5.2019年度決算報告
 - 6.2019年度監査報告
 - 7.2020年度スローガン
 - 8.2020年度事業計画
 - 9.2020年度予算
 - 10.選挙対策
 - 11.新任役員紹介新任役員・退任役員挨拶
綱領宣言
連盟の歌
- 15:30 閉会

本部会場 (東京プリンスホテル)



開会の挨拶をする大島会長



ソーシャルディスタンスを配慮した会場

(日本看護連盟HPより)

兵庫県看護連盟会場 (兵庫県看護協会研修室)



リモートで参加する兵庫県の代議員の方々

リモートで日本看護連盟通常総会に出席して

代議員 阪神南支部幹事 平川 弘美

2020年11月30日、日本看護連盟通常総会が開催されました。COVID-19感染症の第一波拡大を受け、6月5日に開催される予定であった本総会は、日程と開催方法共に変更を余儀なくされました。当日は、中央役員、都道府県会長、代議員のみが東京会場に参加し、リモート・システムを併用して都道府県看護連盟が設置した会場を繋ぐ形となりました。

第4章第22条に基づき、奥本監事による開会の宣言がなされました。

議事進行は、全国会長会で書面審議され決定した報告事項に対する質疑と承認の形での進行でした。

大島敏子会長の挨拶は、看護職代表の石田まさひろ議員の二期目の当選に関する祝福とお礼、COVID-19感染症対応に関わる看護職の労い讃える内容でした。続いて、日本看護協会福井トシ子会長挨拶は、COVID-19感染症対応に関わる医療従事者への敬意と看護協会の政策実現を政治面で支えた看護連盟への感謝、地域単位の看護職の活躍への期待が述べられました。また、来賓の挨拶はビデオメッセージが中心でした。このような方法の開催は、初めてでしたが、議事の進行をリモートで視聴するという新しさを感じることができました。リモートを使用して、より多くの会員に参加者の門戸を広げることひとつの方策であると感じた今回の参加でした。

2020年度 近畿ブロック看護管理者等政策セミナー

- 日 時：2020年12月11日（金）10：00～16：00
- 会 場：ホテルグランヴィア京都 5階「古今の間」
- 参加者数：5名（兵庫県）
- ねらい：①看護管理者・看護教育者等として、看護を取り巻く諸問題を共通理解する
②看護政策の提言と実現に向けた取り組みや方策を理解する

プログラム

- 9:30 受付
- 9:50 オリエンテーション
- 10:00 開講式
挨拶 ・日本看護連盟会長 大島 敏子（リモート）
・日本看護連盟副会長 西城 嘉子
・近畿ブロック協議会会長
大阪府看護連盟会長 小阪 佳代
- 10:20 講義 テーマ「日本看護協会の重点政策と重点事業について」
講師：日本看護協会常任理事 熊谷 雅美先生
- (休憩)
- 11:20 講義 テーマ：「看護職の視点からの政策提言」
講師：舞鶴市議会議員（看護職）田畑 篤子先生
- (昼食・休憩)
- 13:00 講義 テーマ：「医療政策の動向と課題」～新型コロナ対策を含めて～
講師：国際医療福祉大学大学院教授 島崎 謙治先生
- (休憩)
- 14:10 講義 テーマ：「健康と安心を取り戻し、明るい未来の日本を」
講師：衆議院議員 木村 やよい先生
- (休憩)
- 15:05 講義 テーマ：「国政報告」～国のコロナ対策について～
講師：参議院議員 たかがい 恵美子先生
- 15:55 閉講式
挨拶：近畿ブロック協議会副会長
和歌山県看護連盟 会長 石橋 隆子



木村やよい衆議院議員の講義



近畿ブロック看護管理者等政策セミナーに参加して

阪神北幹事 角谷 智子

12月11日(金)COVID-19感染拡大の影響により、本来2日間の予定が1日のみとなり、近畿2府4県の各看護連盟・看護協会の役員の方々や、日本看護連盟会長大島敏子氏(リモート)副会長西城嘉子氏出席のもと約50名の参加で開催されました。

熊谷雅美日本看護協会常任理事から、人口構造の変化により医療ニーズへの影響がある。2040年には団塊ジュニアが高齢者となり独居で貧困層が増加し、患者像の複雑化、在院日数の短縮により地域包括ケア推進と保健医療福祉の連携が重要になる。そのために看護師の高い能力と実践力が求められる。それを見越した看護師基礎教育の改革が必要になるということでした。また、たかがい恵美子参議院議員(リモート)より、COVID-19により孤立を深めている看護職への不利益を被らないような3次補正を検討しているとのことでありました。

新型コロナウイルス感染症の対策について

雪田 智子

医療法人尚和会 宝塚第一病院
特定看護師／感染管理認定看護師

自施設がクラスターに

自施設は、兵庫県宝塚市にあり、急性期病棟と地域包括ケア病棟を持つ病床数199床の急性期中規模病院です。兵庫県では、3月1日に1人目の新型コロナウイルス感染症の陽性者がわかり、その数日後から近隣の介護老人保健施設のデイケアで新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しているとの報道がありました。院内では、新型インフルエンザ等対策会議を新型コロナウイルス感染症対策会議と命名して1月から開催し、院内の感染対策の方針や具体的な対策を検討しているところでした。まさか自施設がクラスターになるとは考えていませんでした。その後、新型コロナウイルス感染症のクラスターとなっている施設から入院した患者さんが感染していたと3月11日に判明し、最終的に院内の感染者は、患者5名と職員3名（うち1名は市中感染）の合計8名となりました。

発生後の対応・感染対策

感染拡大を防止するために、外来診療と新規入院の中止を行い、同時に、全職員に対して現状の周知、感染者の受け入れ先の調整、院内消毒と入院患者や職員のPCR検査を調整しました。自施設は、感染症指定医療機関ではないため、感染者は保健所と相談して受け入れ先を調整していましたが、なかなか転院先が見つからず、発生病棟はPCR陽性者と陰性者が混在している状態がしばらく続きました。発生後16日目ようやく陽性者すべてが転院となりましたが、このような環境下において、新規発生がなかったのは病棟スタッフが感染対策を徹底していたことが結果につながったと考えます。中でも感染対策リンクナースが、積極的に動き、感染対策を周知し、現場を守ってくれました。日ごろから育てていたリンクナースの力は非常に大きく頼りになりました。

病棟以外の職員は、外来診療中止と新規入院の中止により、通常業務から業務変更せざるを得なかった状態でした。看護職員以外のスタッフと協働し、様々な業務を行っていただきました。个人防护具や消毒液の作成、患者の移送や物品の移動、玄関に常駐して来院者への対応等、特に院内消毒作業は、院内のスタッフ総出で感染防止対策チーム（以下ICT：Infection Control Team）の指示のもと実施しました。

チームでの取り組み

発生後にインфекションコントロールドクター（以下ICD：Infection Control Doctor）とともに全部署に足を運び、経過の説明とともに不安や訴えを聞いて回りました。PCRはいつ受けられるのか？大丈夫か？という意見が多く、同居家族が出勤停止になったり、子どもが受診した医療機関で受診を拒否されたなどの風評被害も多々ありました。自宅待機となった職員への連絡やPCRの結果は、すべてICDが直接本人に電話をし、声かけをしていました。組織の中で職種を超え、医師が自ら「体調どうですか？」と声をかけることで、受ける側は安心したと思います。発生時は、病棟以外の職員は状況や経過がわからず、不安になると思います。院内での情報の公開、共有は大切だと実感しました。





現在取り組んでいること

発生前から開催している新型コロナウイルス感染症対策会議は、現在も毎週1回のペースで行っています（発生時は毎日朝・夕の2回開催）。院内外の発生状況や外来の発熱患者の推移やPCRの提出状況や結果、个人防护具の在庫状況等、情報をすべて共有し対応の確認、方針を決定しています。実践面では、毎日朝ICTメンバーでカンファレンスを行い、入院患者の評価を行い、新型コロナウイルスの持ち込みがないように対策を講じています。また、外来でもトリアージを徹底し、新型コロナウイルス感染症の持ち込みを防止しています。

今回、新型コロナウイルス感染症の流行からみえたことは、感染対策の基本である手指衛生の遵守が一番の対策で効果があることだということです。マスクやアイガードの着用で飛沫感染を防止しても接触感染を防止するための手指衛生が徹底できていなければ感染は拡がります。日々、手指衛生の実践に向けて指導はしていますが、観察していると手指衛生のタイミングや个人防护具の着脱時に手指衛生が抜けるという不備がみられます。常に継続して実践できるようにICTのメンバーや感染対策リンクナースとともに働きかけることが必要と考えています。

今後は、地域の医療機関や施設、保健所との連携を引き続き行い、病院の理念である地域から信頼される医療、質の高い感染対策が実践できるように全職員一丸となって取り組むことが課題です。

手指衛生を遵守するための取り組み

- ◆職員の手指衛生に対する意識を高め、維持していくために、手指衛生の現状を可視化することが必要です。
- ◆まず、月単位の擦式アルコール手指消毒剤の使用量を調べてみましょう。
- ◆実際のボトルから減った量をチェックする方法と薬剤部より払い出した量を調べる方法があります。
- ◆月単位の増減を把握することで、ある程度の遵守状況が見えます。
- ◆自施設では、1患者1日あたりの手指衛生回数を算出しています。

1患者1日あたりの手指衛生回数

$$\text{使用量} \div \text{のべ患者数} \div 1.5 \text{ (手指消毒1回あたりの適正使用量)}$$

* 自施設の擦式アルコール手指消毒剤は1回1.5ml（施設で使用している商品で量が違います）

- ・手指衛生の実際は、WHOが推奨している「手指衛生の5つのタイミング」（図1）での実践が重要です。
- ・消毒時は、しっかり1プッシュ（15秒以上かけて乾燥する量）とり、正しい手順で刷り込むのがポイントです。

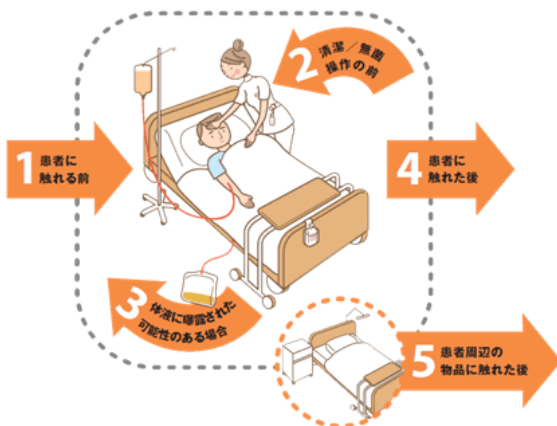


図1 手指衛生の5つのタイミング



図2 手指消毒の手順

（図1.2とも出典元：サラヤ株式会社）



出石訪問看護ステーションでの現状

国内発生早期から感染拡大期にかけて、いくらあったマスク・ガウンなどの材料がなくなり、入手困難になりました。緊急用に残す以外はスタッフが布マスクを手作りし、利用者・家族・経済的に困っている地域住民へのマスクも手作りました。但馬地区の訪問看護ステーションや施設でもPPEが無く、ゴミ袋でエプロンを作成していました。その頃、休校となっていた看護学生たちが手作りのエプロンを届けてくれるという心温まるエピソードがありました。

但馬地区は発症者が無く、訪問自体への不安はありませんでしたが、看護職は、自分が媒介して利用者を感染させないかという不安があり、スーパーへ買い物に行くことすら心配でした。

現在は、マスク・ガウンなどは安定して入荷されています。利用者の発熱などに対しては、事前に連絡をもらい、マスク・ガウンで防護して主治医の診断を受けながら対応しています。現状では、どのステーションも業務量が増えています。他のステーションで断られ訪問を依頼されるケースがあります。また、病院も入院期間を短期にすることで稼働している状況です。また、入院するかどうかの選択で、家族が在宅を望むケースが増えています。訪問件数が増えても職員数は変わらないため、忙しいのが現状です。

冬を迎え発熱者が増加した場合、PCR検査が必要となりますが、現在は豊岡病院のみが対応しているので、他の医療機関での検査拡大が心待ちにされます。

また、現在、研修会はオンラインなどの新たな方法で行われています。訪問看護ステーション13施設の会議もオンラインで行っています。



出石訪問看護ステーションの職員の方達
(出石訪問看護ステーションHPより)

施設名：出石訪問看護ステーション 松田 所長
日時：11月16日 訪問者：監事 竹中 まさ子

介護保健施設での面会中止に伴う看護職員の関わり

感染の拡大と共に、春先からご家族との面会が中止となりました。寂しかったり、イライラしたりしたりするために、職員は、その対応にかかりきりになっています。職員の数が十二分ではないため手一杯の中での対応となっている状況です。

ご利用者は、落ち着くことができないため普段以上に転倒などのリスクを念頭に置いてケアを行うために、看護職・介護職・事務職が一丸となってご利用者に関わっている状況です。その中で特に介護士不足が悩みの種となっています。

施設名：社会福祉法人やすらぎ福祉会 くつろぎの社
北播幹事 山本 陽子

病棟で働く看護師のメンタルケア

一見普段と変わらず仕事をしているように見えるスタッフとも、面接をすることで知ることがありました。今年の面接は、いつも「大丈夫です」「変わりないです」というスタッフからも、COVID-19感染症の影響なのか「いろいろ聞いてください」という要望があり、長い時間をかけて面接を行いました。「やる気が出ない」「生きている意味を見出せない」などのネガティブな言葉も出てきました。

こころが沈んでいる時こそころを動かす、感動することの体験をしてもらいたいと思います。例えば植物や動物に触れること、絵や写真など芸術を楽しむこと、また、1本のアロマオイルの活用が気持ちをリラックスさせてくれます。自分に合ったリラックスさせる方法を見つけて、気持ちを安定させて欲しいとアドバイスしています。



医療法人薫風会佐野病院師長
神戸西部幹事 仁木 美枝子



兵庫県看護連盟の新事務所をご紹介します



セントポーリアが
綺麗に育っています



事務所の様子



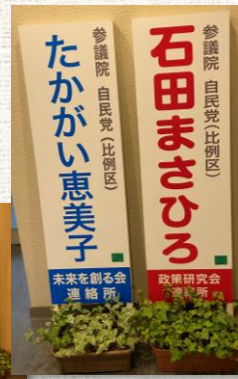
4人の国会議員のポスター



イトーヨーギョー神戸ビル入口



3階に上がるとたかがい議員と
石田議員の看板があります



カンタくんレンコちゃんがお出迎え



県庁側から見た外観



3階の窓に看護連盟の文字が見えます



●所在地

〒650-0004
兵庫県神戸市中央区中山手通5丁目1-3
(イトーヨーギョー神戸ビル3階)

●アクセス

- ・神戸市営地下鉄：県庁前駅西2番出口から北へ徒歩4分
- ・JR：元町駅西口より北へ徒歩9分



入会のご案内

現場で活躍する看護職一人ひとりが主役です。ベッドサイドからの声を国政に反映しましょう！

日本看護連盟

会費 5,000円

兵庫県看護連盟

会費 3,000円

年会費

8,000円

～2021年（令和元年度）の入会手続き受付中～（入会期間:2021年4月1日～2022年3月31日）

連盟会員	<p>■ 正会員 会費 8,000円（年間） （日本看護連盟会費5,000円 県会費3,000円） ・公益社団法人日本看護協会会員の方</p>	賛助会員	<p>■ 看護職賛助会員（看護職の方） 会費 3,000円（県会費のみ・年間）</p>
	<p>■ 特別会員 会費 8,000円（年間） （日本看護連盟会費5,000円 県会費3,000円） ・正会員の経歴を有し、未就業で、公益社団法人日本看護協会会員ではないが、日本看護連盟の活動にご協力・ご支援頂ける方。</p>		<p>■ 一般賛助会員（家族、知人等の一般の方） 会費 500円（年間） ・看護連盟活動に賛同して頂けるのであればどなたでも入会して頂けます。ご家族、ご友人にも広く呼びかけ下さい。</p>

学生会員

会費 無料

・保健師・助産師・看護師又は准看護師の資格を得るために就学している看護学生で、看護連盟の主旨に賛同いただける方を対象としています。
ご入会いただきました学生会員の方には、広報誌をお届けいたします。



学生会員
募集中！

入会は随時受付けております。入会につきましては、兵庫県看護連盟までお気軽にお問い合わせ下さい。

東洋羽毛関西販売株式会社 神戸営業所 TEL : 0120-360420



純
pure
日本製
japanese product

かたくなに、ひたむきに、誇りを持って
東洋羽毛は、精毛から縫製、仕上げの
すべての工程において国内自社工場の
「日本製」であることを守り続けます。

東洋羽毛グッズ



2021年(令和3)卓上カレンダー・スケジュール帳



編集後記

新春の神戸港を眺める表紙の写真は、海と空のブルーを基調とし、医療従事者への感謝を現しています。

新型コロナウイルス感染拡大の中、連盟の研修は中止になることが多くご迷惑をおかけ致しました。皆様に感染対策の知識を深めていただきたく、新型コロナウイルス感染症のクラスターとなった病院の現場で活躍されている特定看護師/感染管理認定看護師雪田智子さんに発生時の対応・対策についてご教授いただきました。また、感染対策に取り組んでいる施設の現状をお聞きし、お伝えすることができました。感謝申し上げます。NEWS Hyogo・五弁の花の発行は、このような状況下で集まることも大変でしたが、無事に発行できました。

丑年は「耐える」「発展する」「芽が出る」と言われています。連盟活動も一步一步着実に活動を進めていきたいと思っております。看護職の働く現場は、厳しいですが、あらゆる状況の中でも看護職としての使命を果たしていきましょう。

(仁木・平川・竹中・山本・桐月)

表紙の絵手紙・・・加集和喜子幹事の作品

【「幸運を運ぶ牛」赤べこは福島県の郷土玩具】

子どもの成長を願う、または疫病除けで、赤べこが身代わりになり病気（流行り病）から守ってくれるという伝説が残っている。病が治った時の模様を黒と白で描き、願いをこめて家に飾ったという。

